

2月定例会において 関本まさき 初の代表質問（抜粋）



①大和平野中央の県有地活用について

川西町下永地区のバルセロナレジデンスアカデミーの誘致の進捗状況について
→1月に知事がヨーロッパを歴訪し、アカデミー幹部とも面会しトップセールス。契約等の時期は未定だが十分な手ごたえを感じていると答弁。

②高校授業料無償化の拡充について→割愛

③県営平城宮跡歴史公園の整備について

→**食のハブ拠点**を誘致すると答弁。詳細は県民だより5月号をご覧ください。

④奈良まほろば館について

（＝東京・新橋にある奈良県のアンテナショップ、首都圏における情報発信拠点）

1階の店舗の売上は令和4年度で約1億2000万円、令和5年度で約1億4000万円、令和6年度は12月末までで約1億1000万円。観光案内の人数も1時間当たり1～2人程度。移住相談は令和3年度は12件、令和4年度、5年度は3件、令和6年度は1月末までで6件。2階のイベントスペースは講座等で6割から7割は稼働しているように見られる。これらにかかる費用として大きな割合を占める、1階と2階の賃料だけで月額約1200万円、年間で1億4000万円以上。入っていただいている飲食店からも売上に対する一定割合の負担金はもらっているが、それでも年間1億3000万円以上の負担。1億から1億5000万円前後の売り上げとそれ以外の奈良のPR施策に対して賃料のコストだけでこの高額な費用。効率性に疑問を感じ、見直しが必要ではと疑義を呈す。

⑤土木技術職員の確保について

確保に苦労している現状を伺う。奨学金支給制度の拡充と広報強化を要望。

⑥教員の確保について

ここ数年、教員未配置の状況が続いており（担任がいらない、といった状況はないが定数や加配で配置するよう定められている数に充足できていない）、確保が本当に急務。様々な施策は実施されているが、まだ不十分だと感じる。新卒採用も増やしていく計画だが、一層拡充し離職防止の対策も進めていただくよう要望。

⑦自由進度学習について

自由進度学習とは・・・先生の指導の下、子どもたちが自ら時間割を組んで、学び方や学ぶペースを自分で決めて学んでいくというものです。最初に先生から学ぶ内容について大枠の説明はありますが、その後教科書を読んだり問題を解いたり、タブレット端末で調べたりというのは個人、もしくは友達と協働で。同じ時間中に社会の調べ学習をしている子や計算問題を解く子、漢字の勉強をする子がいたり、一見すると自習しているようにも見える授業風景。児童、生徒が主体的に学ぶ力を養えるよう自由進度学習を取り入れていくべきと提言。

今回初めて会派を代表しての質問をさせていただきました。時間も一般質問は25分のところ代表質問は40分！（2月、9月定例会の場合。いずれも答弁時間は含まず質問時間のみ）たくさん質問できるのはうれしい反面、今回は見ただけで質問の概要がわかるよう資料も作りこんだので準備にだいぶ苦労しました。⑥は色々なところからお声をちょうだいしており熱が入りましたし、⑦は視察にも行き、力を入れて質問しました。是非進めてほしい！